



西ノ島町コミュニティ図書館

いかにあ屋通信 vol.72



はや、またこの時期がやってまいりました。卒業や異動など、せわしかったり、さみしかったりもしますが、希望もあふれる季節です。どんな未来が待っているのか、ワクワクの新年度にむけて、一日一日を大切に過ごしたいですね。



3月2日 **土** 14:30 ~ 15:00 ※申込不要

共同募金分配金事業

「西ノ島の自然を知ろう!」講座

浦郷大雅クラブさんが、西ノ島の生き物や植物をおさめた写真集9冊をあらたに制作され、図書館にもご寄贈いただきました。すばらしい郷土資料の制作、そしてご寄贈いただきありがとうございます。

せっかくの機会ですので、西ノ島の生き物や植物について、お話をうかがうことになりました。3月2日14時30分からです。西ノ島の自然にご興味あるかた、ぜひお誘いあわせてお越しください。



浦郷大雅クラブさんが制作された写真集。全部で9冊。図書館で閲覧することができます。

まめにしとる?

これまで「いきいきコーナー」としてご活用いただいていたコーナーを見直し「いきいきまめ棚」としてリニューアルいたしました。年齢と共にだんだん気になってくることに関する本や、脳トレや体力づくりの本、いろいろ不調が出てきても心豊かにこちよく暮らすヒントになりそうな本、認知症や介護に関する本などを集めております。Let'sまめなライフ♪

29番の棚だよ!



☆ いかにあ屋からおすすめの本 ☆

うえきばちです

茶色の植木鉢。どこにでもある植木鉢。もうすぐ春ですね。何を植えようかな? 植えるのはもちろん...? ちょっと怖い!? でも子ども達に大ウケまちがいなし!? ぜひ手にとってご覧ください。



著者名：川端 誠
出版社：BL出版

図書館カードの登録内容について

図書館カードご登録時のご住所やお電話番号などに変更がございましたら、図書館の方にもお知らせくださいね。



西ノ島町コミュニティ図書館
〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷 67-8
TEL: 08514-2-2422 FAX: 08514-2-2423
MAIL: ikaya@nishinoshimalib.jp



ホームページ



FaceBook



焼火神社「はつまいり」の開催

焼火神社にて、今年は2月10日～3月10日の隔週土日に、恒例行事「はつまいり」を開催しています。普段山登りをする機会のない方も、これを機に焼火山を散策してみてもはいかがでしょうか。なおらい※直会※会場となる社務所は、休憩所としても利用可能です。



直会なほらいって？

神社における祭祀の最後に、神事の参加者で神酒・神饌を食する行事。焼火神社に於いては今回3年ぶりに直会を開催しました。



直会の膳

かつて知夫里で「はつまいり」の道のりで競争があった

知夫村古海うらみでは新春の「焼火山はつまいり」の途中には船漕競争をする。その時、小年寄りと若い者が競争するので、この目印に浜辺に幟を立てる。なお、この日は各自の家では昔は白い麦酒を造り祝い、年寄、小年寄、若者の年齢別に船に乗って、焼火神社に赴いたものであった。

「島前漁村探訪記」より



① 2月10日の祭祀の様子 ② 大山地区としまっこの子どもたちで直会の膳を囲みました

海藻専門家の 海藻講座

★第5回★
藻場の役割
- 西ノ島町の海のゆりかご -



水産大学校で海藻の生理・生態や藻場の保全などについて研究を進めている

国立研究開発法人
水産研究・教育機構 水産大学校生物生産学科
教授 村瀬 昇むらせ のぼる氏

今回は、海藻が繁茂して広がる藻場の役割についてお話しします。前回までの海藻講座に掲載したツルアラメやノコギリモクは藻場を構成する海藻です。

藻場は海中で立体的な空間をつくるため、陰ができ波浪を弱めます。そのため、藻場内の海藻の葉には微小な藻類が付着し、小型の巻貝類やエビ類等が育ちます。また、それらを餌とする魚類等が集まります(図1)。魚やイカには藻場で産卵する仲間がいます。さらに、藻場内から流出した海藻が海面を漂う流れ藻は、モジャコ等の稚魚やカニ類等の生息場になります。一方、流出した海藻が海底を漂う寄り藻は、アワビ類、サザエ、ウニ類等の餌になります。このように西ノ島町でも広がる藻場は「海のゆりかご」として海の生き物の多様性を高め、沿岸漁業を支える重要な役割を果たしています。

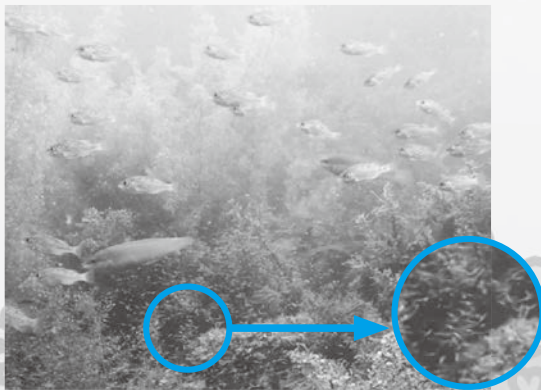


図1 ガラモ場に集まる小型甲殻類(水色枠)と魚類

この記事に関するお問い合わせ先：西ノ島町役場 産業振興課 (☎ 08514 - 6 - 1220)